

地域人材ネット

復興事業・ICTによる新たな街づくりと地方都市の自立

中村 彰二郎 (なかむら しょうじろう)

アクセンチュア株式会社 福島イノベーションセンターセンター長



○ 登録者情報

所在地

福島県会津若松市

略歴

1963年生まれ、宮城県出身。IT業界～経営コンサル業界、25年間従事。

1986年よりUNIX上でのアプリケーション開発に従事し、国産ERPパッケージベンダー、EC業務パッケージベンダーの経営に関わりました。

2000年より、開発生産性向上方法論や再利用コンポーネントのテーマに注力し、EAモデル(全体最適化)に即したJ2EEフレームワーク開発/製品化を行いました。

2002年6月、サン・マイクロシステムズへ入社し、e-Japanプロジェクトを担当、政府自治体システムのオープン化と、地方ITベンダーの高度人材育成や地方自治体アプリケーションシェアモデルを提唱し全国へ啓発しました。更にその実現の為、4年間金沢工業大学の客員教授に着任しモデル研究を行いました。

2011年1月、アクセンチュアに移籍し、3.11以降は、福島県復興の為に設立した福島イノベーションセンターのセンター長に着任、東日本の復興および日本の再生を実現するため、首都圏一極集中のデザインから分散配置論を展開し、社会インフラのグリッド化、グローバルネットワークとデータセンターの分散配置の推進、再生可能エネルギーへのシフト、地域主導型スマートシティ事業開発等、復興プロジェクトに取り組んでおります。

著書・論文等

「IT革命がもたらした流通革命の本質（一橋ビジネスレビュー）」(2001年9月)

「クラウドが経営を変える！」(2012年2月)

○ 復興事業・ICTによる新たな街づくりと地方都市の自立

取組の内容

復興・日本再生8方針

- ①一極集中モデルから、自立・分散・強調モデルへ
- ②社会インフラのグリッド化
- ③地域の自然資源を活用した、再生可能エネルギーへのシフト
- ④高付加価値産業、成長産業の誘致(Invest Fukushima)
- ⑤都市戦略、地域産業振興(スマートタウン、Visit Japan、Cool Japan)
- ⑥他地域への展開性を考慮(オープンスタンダード、世界標準)
- ⑦産官学連携イノベーションの実現
- ⑧福島県特有の課題解決

以上を実施するための協議会等の活動

一般社団法人オープンガバメント・コンソーシアム代表理事

ジャパン・クラウド・コンソーシアム幹事

会津産学コンソーシアム幹事

実績

自治体アプリケーションシェアモデルの計画提言(2002年～)

オープンソースソフトウェア普及活動(2003年～)

データセンター地方分散計画提言(2006年～)

霞が関クラウド計画提言(2008年～)

会津若松市スマートシティ推進事業(2012年～)



「電力見える化サービス」

多種多様なICT端末による「見える化サービス」
(時間別・日別の消費電力量画面等)
※レスポンスWebデザインに対応

工夫した点や苦労した点

新たな取り組みや改革には既得との衝突は避けて通れません。常にこの点に苦慮していますが、協議会等を立ち上げ、多くの意見をまとめることで、一步一步前に進めるように尽力しています。

ひとことPR

グローバルな視点で地方都市の在り方を考え、ヒエラルキー的の社会構造から、フラットでオープンな新たな社会モデル構築を目指しています。

○参考

取組の分類

地域人材ネットでは、登録者の取組を11の政策分野に分類しています(複数の分野に該当するものもあります)。

○	1	地域経営改革	○	7	まちなか再生
	2	地場産品発掘・ブランド化		8	若者自立支援
	3	少子化対策	○	9	安心・安全なまちづくり
○	4	企業立地促進		10	環境保全
	5	定住促進	○	11	その他(再生可能エネルギー関連)
	6	観光振興・交流			

関連ホームページ

アクセンチュア株式会社 会社概要	http://www.accenture.com/jp-ja/company/overview/pages/japan-over-facts.aspx
------------------	---

戻る